

令和5年度

事 務 報 告

乙訓福祉施設事務組合

目 次

◇ 総 務 課	1
◇ 乙 訓 若 竹 苑	1 2
◇ 介 護 障 害 審 査 課	2 3
◇ 障 が い 者 相 談 支 援 課	3 0
◇ 乙 訓 ポ ニ ー の 学 校	3 8

総 務 課

1 主要な事務事業に関する事項

(1) 人事

① 職員数（令和6年3月31日現在）

事務局長（派遣職員）	1
会計管理者（向日市会計管理者）	1
総務課 6名（再任用職員1名含む）	
課 長	1
企画総務係長（課長兼務）	
企画総務係	3（再任用1）
行財政係長（課長兼務）	
行財政係	2
乙訓若竹苑 13名（再任用職員2名、会計年度任用職員（月額）4名含む）	
施 設 長	1
施設長補佐	1
就労継続係長	1
就労継続係	4（再任用1・会計年度任用職員1）
生活介護係長（施設長補佐兼務）	
生活介護係	2（再任用1）
地域活動係長	1
地域活動係	3（会計年度任用職員3）
介護障害審査課 6名（会計年度任用職員（月額）2名含む）	
課 長（派遣職員）	1
認定審査係長	1
認定審査係	4（会計年度任用職員2）
障がい者相談支援課 3名	
課 長	1
相談支援係長	1
基幹相談支援センター （乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局） （乙訓障がい者虐待防止センター）	
相談員	1
相談支援専門職員（GM）（課長兼務）	
乙訓ポニーの学校 22名（会計年度任用職員（月額）7名含む）	
施 設 長	1
施設長補佐	1
療育係長（施設長補佐兼務）	
療育係	10（会計年度任用職員5）
相談係長	1
相談係	9（会計年度任用職員2）
合計 一般職員33名	
* 再任用・会計年度任用職員（月額）を含めた合計は49名	
* 派遣職員・会計管理者は除く。	
* （ ）内は、再任用及び会計年度任用職員（月額）数の内書きである。	
定数 38名（一般職員の定数）	

② 職員採用・退職等の状況

令和4年度 退職者数	令和5年度 採用者数	令和5年度 退職者数
2	0	3

(2) 職員研修（総務課所管）の実施状況

研 修 名	主 催	日数	人数
AED講習会	セコム(株)	1	7
新任課長補佐研修（コンプライアンス・リスクマネジメント）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	1
新任課長補佐研修（メンタルヘルス）（オンライン）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	2
課長研修（マネジメント）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	1
中堅職員後期研修（チームリーダー・業務改善）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	1
広報担当者研修会（オンライン）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	1
防犯に関する研修	セコム(株)	3	45
若手職員前期研修（フォローシップ・コミュニケーション）	（公財）京都市町村職員振興協会	2	2
若手職員前期研修（会計制度・契約事務）（オンライン）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	2
中堅職員前期研修（後輩指導・調整力）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	1
Excel基礎・応用（オンライン）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	2
中堅職員前期研修（ファシリテーション）（オンライン）	（公財）京都市町村職員振興協会	1	1
自治体職員のための契約の基本と実務研修（オンライン）	（一社）日本経営協会	1	1
IT調達マネジメント実践講座（オンライン）	（一社）日本経営協会	1	1
広報紙作成の基本実務（オンライン）	（一社）日本経営協会	1	1
安全運転講習会	（一社）日本自動車連盟	2	37
「人事評価 評価者研修・目標適正化会議」	（株）ぎょうせい	1	6
「人事評価 評価者研修・評価適正化会議」	（株）ぎょうせい	1	6

(3) 衛生管理

- ① 定期健康診断（京都府市町村職員共済組合）
実施日 令和5年6月26日～30日
受診 47名（うち人間ドック10名）
対象 一般職員・再任用・会計年度任用職員
- ② 特殊健康診断（京都予防医学センター）
実施日 令和6年2月21日・22日
受診 16名
対象 施設指導員
- ③ 産業医による健康診断結果意見付与・職場巡視 随時
- ④ ストレスチェック 令和5年10月実施
- ⑤ 衛生委員会 毎月
- ⑥ 産業医による衛生講話
実施日 令和5年11月21日
テーマ 「メンタルヘルス（不調の予防、不調者へのフォロー）」
対象 一般職員・再任用・会計年度任用職員

(4) 防災関係

避難訓練 令和5年11月15日

(5) 広報

組合の広報活動として、6月及び12月に広報紙を発行し、全戸配布した。また、組合ホームページにより、組合概要、事業、行事の開催等の情報を発信した。

・組合広報紙「おつふくつうしん」の発行（年2回・二市一町全戸配布）

発行日 第49号 令和5年 6月 1日
第50号 令和5年12月 1日

(6) 契約事務の状況（総務課所管）

物品賃貸借契約

契約件数 1件

物件名	契約の方法	契約の相手	契約金額 (税込)
パソコンリース料(31台) (令和5年12月1日～ 令和10年11月30日)	指名競争入札	FLCS(株)	3,744,180円 (5年間分)

(7) 乙訓福祉施設事務組合運営協議会会議の状況

運営協議会で、乙訓福祉施設事務組合の円滑な運営を図るため、管理運営、関係行政機関との調整に関することを協議した。また、部署別等で専門的かつ詳細な協議を行うことが適当な場合には、部会を設けて協議した。

① 全体会

開催日	主な議題
令和5年8月15日 (書面開催)	・令和4年度乙訓福祉施設事務組合歳入歳出決算書及び事務報告について ・各部会の報告について
令和5年11月22日	・令和6年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算(案)及び事業概要について ・各部会の報告について

② 部会

ア 若竹苑部会

開催日	主な議題
令和5年7月20日	・乙訓若竹苑各事業の事業運営について

イ ポニーの学校部会

開催日	主な議題
令和6年1月30日	・障がい児相談支援業務の状況について ・児童発達支援事業の利用状況について

ウ 介護障害審査課部会

開催日	主な議題
令和5年7月5日	・要介護(要支援)認定に係る主治医意見書の提出方法の見直し等について
令和5年10月25日 (障がい福祉担当) (書面開催)	・主治医意見書返信用封筒(二市一町作成)導入による予算計上について ・令和6年度審査会開催回数及び令和6年度予算編成について ・障害支援区分認定支援システムの再リリースについて

令和5年10月25日 (介護保険担当) (書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医意見書返信用封筒(二市一町作成)導入による予算計上について ・令和6年度予算編成について
----------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

エ 障がい者相談支援課部会

開催日	主な議題
令和5年10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会のGM後任について ・基幹相談支援センターの適切な職員体制について ・障がい者虐待対応について

(8) 例規改正等の状況

区分	条例名等
条例 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・乙訓福祉施設事務組合職員の給与に関する条例及び乙訓福祉施設事務組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 ・職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ・乙訓福祉施設事務組合長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部改正
規則 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・乙訓福祉施設事務組合組織規則の一部改正 ・乙訓福祉施設事務組合職員の給与に関する条例施行規則の一部改正 ・乙訓福祉施設事務組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例施行規則の一部改正 ・乙訓福祉施設事務組合契約規則の一部改正

2 議会に関する事項

(令和6年3月31日現在)

(1) 議員定数 定数 9人 現員数 9人

(2) 議員構成

(単位：人)

構成市町	議長	副議長	監査委員	議員	計	備考
向日市			1	2	3	
長岡京市		1		2	3	
大山崎町	1			2	3	

(3) 議決状況

(単位：件)

		令和5年 第2回 定例会	令和5年 第3回 定例会	令和5年 第4回 定例会	令和6年 第1回 定例会	合 計
開催日		令和5年 6月28日	令和5年 9月26日	令和5年 12月26日	令和6年 3月26日	—
会期日数		1日	1日	1日	1日	4日
付議 事件	管理者提出 件数	2	3	2	4	11
	議員提出 件数	—	—	—	—	—
議決 結果	原案可決 件数	—	1	2	4	7
	修正可決 件数	—	—	—	—	—
	原案否決 件数	—	—	—	—	—
	認定・決定 件数	—	1	—	—	1
	承認・同意・ 認可件数	2	1	—	—	3

(4) 議員視察研修

研修実施日 令和5年10月5日
 研 修 先 社会福祉法人 京都府社会福祉事業団
 「京都府立こども発達支援センター」(京都府京田辺市)
 研 修 事 項 施設運営について

3 監査に関する事項

令和5年度における検査、監査及び審査は以下のとおり実施した。

(1) 出納検査

実 施 日	検 査 対 象
令和5年 4月24日	令和4年度 3月分
5月23日	令和4年度 4月分 令和5年度 4月分
6月28日	令和4年度 5月分 令和5年度 5月分
7月31日	令和5年度 6月分

8月22日	令和5年度 7月分
9月26日	令和5年度 8月分
10月20日	令和5年度 9月分
11月16日	令和5年度 10月分
12月26日	令和5年度 11月分
令和6年 1月24日	令和5年度 12月分
2月21日	令和5年度 1月分
3月26日	令和5年度 2月分

(2) 定期監査

実施日	監査対象
令和5年11月16日	総務課、介護障害審査課 若竹苑、ポニーの学校 障がい者相談支援課

(3) 決算審査

実施日	審査対象
令和5年 7月31日	令和4年度一般会計

4 公平委員に関する事項

会議の状況

- 開催数 1回
 開催日 令和6年3月5日
 内容 ・委員長の選挙
 ・組合諸報告
 ・組合条例他

5 令和5年度決算の概要

(1) 決算の状況

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引残額
一般会計	494,887,000	501,385,975	454,071,002	47,314,973

① 歳入内訳

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
分 担 金	351,368	70.1	351,748	71.7	△ 380	△ 0.1
負 担 金	118,857	23.7	107,563	21.9	11,294	10.5
小 計	470,225	93.8	459,311	93.6	10,914	2.4
府 支 出 金	2,100	0.4	2,600	0.5	△ 500	△ 19.2
財 産 収 入	5,839	1.2	5,125	1.1	714	13.9
繰 越 金	21,255	4.2	19,876	4.1	1,379	6.9
諸 収 入	1,967	0.4	1,886	0.4	81	4.3
繰 入 金	0	0	1,133	0.2	△ 1,133	皆減
国庫支出金	0	0	357	0.1	△ 357	皆減
合 計	501,386	100.0	490,288	100.0	11,098	2.3

② 歳出内訳 (目的別)

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費	1,088	0.2	1,154	0.2	△ 66	△ 5.7
総 務 費	84,121	18.5	85,185	18.2	△ 1,064	△ 1.2
民 生 費	368,862	81.3	382,694	81.6	△ 13,832	△ 3.6
合 計	454,071	100.0	469,033	100.0	△ 14,962	△ 3.2

③ 歳出内訳 (事業別)

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費	1,088	0.2	1,154	0.2	△ 66	△ 5.7
総 務 費	84,121	18.5	85,185	18.2	△ 1,064	△ 1.2

民生費		368,862	81.3	382,694	81.6	△ 13,832	△ 3.6
内 訳	若竹苑管理費	101,520	22.4	111,067	23.7	△ 9,547	△ 8.6
	若竹苑授産 事業費	5,835	1.3	5,121	1.1	714	13.9
	介護保険 認定事業費	75,500	16.6	71,201	15.2	4,299	6.0
	障害支援区分 認定事業費	15,037	3.3	15,556	3.3	△ 519	△ 3.3
	障害者相談支援 ネットワーク事業 費	333	0.1	4,194	0.9	△ 3,861	△ 92.1
	障がい者虐待防 止・基幹相談支援 センター事業費	28,046	6.2	35,601	7.6	△ 7,555	△ 21.2
	ポニーの学校 管理費	142,591	31.4	139,954	29.8	2,637	1.9
合 計		454,071	100.0	469,033	100.0	△ 14,962	△ 3.2

④ 歳出内訳 (性質別)

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
人 件 費	359,618	79.2	373,088	79.6	△ 13,470	△ 3.6
物 件 費	60,081	13.2	58,566	12.5	1,515	2.6
維持補修費	1,031	0.2	2,026	0.4	△ 995	△ 49.1
補 助 費 等	33,341	7.4	35,353	7.5	△ 2,012	△ 5.7
合 計	454,071	100.0	469,033	100.0	△ 14,962	△ 3.2

* 補助費等は、報償費、負担金、保険料等で、主なものは、要介護度認定及び障害支援区分認定の主治医意見書作成謝礼 (30,821千円)

(2) 債務負担行為に基づく支出額と次年度以降の支出予定額 (単位：千円)

契約内容 (契約相手方)	契約期間	契約金額	令和4年度 末までの 支出済額	令和5年度 支出額	令和6年度 以降支出 予定額
要介護認定支援システム ソフトウェアリース (みずほ東芝リース(株))	R4.6.1～ R9.5.31	24,710	4,118	4,942	15,650
要介護認定支援システム ハードウェアリース (シャープファイナンス(株))	R4.6.1～ R9.5.31	2,726	454	545	1,727
障害支援区分認定支援 システムリース (株)両備システムズ)	H31.4.1～ R6.3.31	16,459	13,167	3,292	0
合 計		43,895	17,739	8,779	17,377

(3) 一時借入金の状況

令和5年度の一時借入金の借入実績は、なかった。

(4) 給与費の状況

① 一般職

(令和6年3月31日現在)

平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	職員数
311,393 円	396,895 円	39 歳 7 月	33 人

* 上記の職員数には派遣職員・会計年度任用職員・再任用職員は含まれない。

② 特別職

職 名	給料月額
管 理 者	11,000 円
副管理者	9,000 円

③ 議員

職 名	報酬月額
議 長	10,000 円
副議長	8,000 円
議 員	7,000 円

(5) 基金積立金明細書

(単位：円)

名 称	令和4年度末 現在高	令和5年度中		令和5年度末 現在高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	874,299	8	0	874,307
施設整備基金	0	0	0	0
計	874,299	8	0	874,307

乙訓若竹苑

1 施設運営及び利用者支援の総括

公募型の作品展に出展、賞を取ることが続き、創造することへの意欲が高まったこともあり、乙訓若竹苑主催「わかたけえん小さな作品展」を若竹会の協力のもと、永守重信市民会館のギャラリーにて開催した。絵や書、工作など個性が光る作品が集まり、若竹苑での姿とは違う一面が見られた取り組みだった。

就労継続支援(B型)事業では、新規利用者が2名増え計30名となった。

介護事業所室内清掃は休止したままだが、軽作業の受注を増やし、べんがら染製品などの自主製品をコンスタントに製作、販売できたことから前年度と比較して収入を増やすことができた。軽作業は様々な作業を受注しており、工程も多くあるため、利用者の力に応じた作業を提供できた。また、就労を希望する方には実習や事業所の見学同行を行った。一方で加齢とともに作業をすることが難しくなってきた利用者に対して生活面の支援や家族、関係者との相談援助を行った。今後も変化するニーズへの対応が求められると考えている。

生活介護事業では、引き続き利用者3名で個別活動を中心に自主製品づくりやアルミ缶リサイクル活動、創作活動などを行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大以降自粛していた公共交通機関を利用しての苑外活動を実施した。自主製品づくりでは新たな製品をつくったほか、アルミ缶リサイクル活動でも、年々協力してくださる方が増えており、地域とのつながりを持てる活動となっている。

地域活動支援センター事業では、12月から平日のプログラムについても、ホームページ掲載やチラシ配布等で告知したことで、利用回数の増加につながった。定期的な利用の方も多く、クッキングや創作系が人気である。また、地域のボランティアの方に協力をしてもらい、クッキングや音楽系のプログラムが充実した。利用者の中にはプログラムには参加せず、インターネットの使用や交流を目的とした方もいた。

日中一時支援事業では、利用希望が集中する日があること、個別対応が必要な利用者の増加傾向は続いている。なお、緊急時における利用は1回あった。

相談支援事業では、52名の計画相談を実施した。障害児相談支援からの引継ぎのケースや新たに障害福祉サービスを利用するために計画相談支援事業所を探しておられる利用者に対してできる限り応えられるよう努めた。

2 各事業共通事項

(1) 行事等の実施状況

実施日	内容
6月5日～12日	胸部X線検査
6月23日～27日	わかたけえん小さな作品展
7月10日、1月22日	内科健診
8月25日、3月13日	保健衛生講話

8月31日、11月15日	防災避難訓練
10月31日	歯科検診
12月8日	事業報告会
3月11日	シェイクアウト訓練

※ 口腔ケア 月1回不定期で実施

(2) 給食の実施状況

① 給食委員会

- ・実施回数 年間6回
- ・参加者 一富士フードサービス(株) 栄養士、調理師 他
乙訓若竹苑 支援員、利用者

② 喫食数

月	実施日	食数(食)	月	実施日	食数(食)
4月	20日	789	10月	21日	843
5月	20日	770	11月	20日	833
6月	22日	842	12月	20日	793
7月	20日	793	1月	19日	727
8月	20日	795	2月	19日	754
9月	20日	778	3月	20日	801

- ・年間給食実施日 241日 (前年度 241日)
- ・年間合計食数 9,518食 (前年度 9,725食)
- ・1日平均食数 39食 (前年度 40食)

(3) 職員研修の実施状況

研修名	主催	日数	人数
京都府障害者虐待防止・権利擁護研修(市区町村、虐待防止センター職員等コース)(eラーニング+集合)	京都府	1	1
京都府障害者虐待防止・権利擁護研修(障害福祉サービス事業所等管理者・従事者コース)(eラーニング+集合)	京都府	3	1
障害者・高齢者虐待防止に向けて施設・事業所に求められる体制整備と身体拘束・行動制限の廃止を考える(eラーニング)	京都府	1	1
京都府相談支援従事者初任者研修(eラーニング+集合)	京都府	5	1
京都府相談支援従事者現任研修(eラーニング+集合)	京都府	4	1
京都府強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)(eラーニング+集合)	京都府	5	1

研 修 名	主 催	日数	人数
改正障害者差別解消法に係る説明会 (オンライン)	内閣府	1	1
令和5年度福祉サービス苦情解決事業セミナー	京都府福祉サービス運営適正化委員会	1	1
令和5年度処遇改善加算取得促進セミナー	京都府	1	1
就労支援基礎研修	京都障がい者職業センター	2	1
リーガルソーシャルワーク研修	京都社会福祉士会	2	1
令和5年度若年性認知症研修会	京都府乙訓保健所	1	1
障害者福祉サービス事業者・介護サービス事業者における虐待防止委員会設置・運営の実務(オンライン)	近畿弁護士会連合会	1	1
虐待の芽に気づける感性をもつために	京都知的障害者福祉施設協議会	1	1
障がいのある人の就労支援	京都新聞社会福祉事業団	1	1
高齢期ASDの支援について(eラーニング)	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	1	1
ひきこもりに関する学習会	乙訓もも	1	1
災害時要配慮者支援制度・個別避難計画研修	長岡京市障がい福祉課	1	1
乙訓圏域新任職員連続講座	乙訓障がい者基幹相談支援センター	3	3
令和5年度第1回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会「成年後見制度の基本を学ぶ」	乙訓障がい者基幹相談支援センター	1	1
令和5年度第2回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会「障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について学ぶ」	乙訓障がい者基幹相談支援センター	1	1
令和5年度乙訓障がい者虐待防止センター主催研修会「障害者虐待防止法と利用者や家族等からの要求に対する事業所の対応を法的視点から考える」	乙訓障がい者虐待防止センター	1	1
歯科医療受診困難者における問題点と対策～かかりつけ歯科受診の検討～	乙訓圏域障がい者自立支援協議会	1	1
令和5年度福祉的就労から一般就労に向けた学習会	乙訓圏域障がい者自立支援協議会	1	1

インボイス制度について	乙訓福祉施設事務組合	2	6
繰り返す軽犯罪をどう考えるか	乙訓福祉施設事務組合	1	1 2
(社福) 西陣会地域活動支援センターふらっと見学	乙訓福祉施設事務組合	1	1

(4) 実習・見学の受け入れ

- ① 社会福祉援助技術現場実習 1人
- ② 介護等体験実習 5人
- ③ 特別支援学校高等部実習 2人
- ④ 長岡京市役所新人職員研修 9人
- ⑤ 保育士実習 1人
- ⑥ その他見学 6人

(5) 苦情解決制度の利用 0件

(6) ボランティアの受け入れ

- 地域活動係 調理指導 1人
- 行事（音楽レクリエーション） 1人
- 就労継続係 作業補助 1人

3 就労継続支援B型事業

(1) 年間開所日数 241日（前年度 241日）

(2) 利用者の状況

① 利用者数と出席率（定員34人 毎月末人数）（単位：人）

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計	出席率 (%)
4月	6	19	3	28	94.5
5月	6	19	3	28	94.1
6月	6	19	3	28	93.8
7月	6	19	3	28	94.1
8月	6	19	3	28	93.4
9月	6	19	3	28	92.5
10月	6	19	4	29	92.4
11月	6	19	4	29	93.8
12月	7	19	4	30	89.3
1月	7	19	4	30	87.9
2月	7	19	4	30	90.7
3月	7	19	4	30	92.7
計	76	228	42	346	92.4

1日平均利用者数 26.6人（前年度 25.0人）

② 年齢・性別の状況（令和6年3月31日現在）（単位：人）

	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 以上	計	平均 年齢
男	0	1	0	4	2	1	5	5	1	19	42歳
女	1	1	0	0	1	4	2	1	1	11	43歳
計	1	2	0	4	3	5	7	6	2	30	42歳

③ 在苑期間の状況（令和6年3月31日現在）（単位：人）

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計	1人当たり 平均在苑期間
男	1	1	0	6	4	7	19	19年6ヵ月
女	2	1	0	1	2	5	11	14年10ヵ月
計	3	2	0	7	6	12	30	17年8ヵ月

④ 一般就労者 なし

⑤ 他事業所への移行 0人

(3) その他

① 作業収入（単位：円）

月	介護事業所 等清掃	下請軽作業	墓掃除・除草	自主製品	計
4月	0	182,984	0	18,519	201,503
5月	56,976	191,951	29,000	7,199	285,126
6月	56,976	285,682	124,000	12,920	479,578
7月	62,598	214,911	32,000	210,611	520,120
8月	59,787	332,793	64,300	99	456,979
9月	51,354	279,071	147,100	8,400	485,925
10月	59,787	306,087	130,000	69,710	565,584
11月	62,598	270,056	29,000	15,048	376,702
12月	59,787	297,381	55,300	42,350	454,818
1月	59,787	197,829	29,000	54,220	340,836
2月	56,976	213,584	29,000	4,800	304,360
3月	299,574	530,374	239,000	7,299	1,076,247
計	886,200	3,302,703	907,700	451,175	5,547,778

前年度 作業収入合計 4,850,055円

② 作業工賃

	作業工賃(円)	支給者数(人)	平均月額(円)
4月	338,880	28	12,103
5月	337,500	28	12,054
6月	374,440	28	13,373
7月	357,070	28	12,753
8月	337,350	28	12,048
9月	341,470	28	12,195
10月	386,510	29	13,328
11月	350,280	29	12,079
12月	337,550	30	11,252
1月	315,640	30	10,521
2月	329,910	30	10,997
3月	358,000	30	11,933
一時金	1,062,400	30	35,413
計	5,227,000	※346	15,107

前年度 作業工賃合計 4,558,000円 平均月額 14,068円

※ 一時金の支給者数は含まない延人数

③ バザー等の実施状況

(単位：円)

日程	名称	場所	売上額
6月10日	ほっとはあとマルシェ	イオンモールKYOTO	6,800
9月14日	ほっとはあと製品販売会	イオンフードスタイル東向日店	6,000
11月11日	ぼたろうまつり	NPO法人てくてく	4,100
11月19日	向日市社協まつり	向日市社会福祉会館	10,750
12月2日	人権を考える市民のひろば	長岡京市立中央公民館	10,250
12月3日	長十小フェスティバル	長岡第十小学校	6,500
12月10日	もちつき大会(ほっとはあと乙訓ブロック)	乙訓の里	5,600
出展販売	ほっこりんぐ売り上げ(計10回)	長岡京市役所他	25,900
常設販売	ハートプラザ京都店舗他		236,680
受注販売	ほっとはあとセンター		28,532
その他	その他自主製品売り上げ		110,063
合計			451,175

前年度 売り上げ合計 343,534円

④ その他

- ・個別支援計画の作成及び面談 年2回実施
- ・日帰りレクリエーション（作品展鑑賞と喫茶・工場見学とランチ）

4 生活介護事業

(1) 年間開所日数 241日（前年度 241日）

(2) 利用者の状況

① 利用者数（定員6人 毎月末人数）（単位：人）

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計	出席率 (%)
4月	1	2	0	3	100.0
5月	1	2	0	3	100.0
6月	1	2	0	3	97.0
7月	1	2	0	3	100.0
8月	1	2	0	3	100.0
9月	1	2	0	3	100.0
10月	1	2	0	3	100.0
11月	1	2	0	3	100.0
12月	1	2	0	3	100.0
1月	1	2	0	3	98.2
2月	1	2	0	3	98.2
3月	1	2	0	3	98.3
計	12	24	0	36	99.3

1日平均利用者数 3人（前年度 3人）

② 年齢・性別の状況（令和6年3月31日現在）（単位：人）

	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	計	平均年齢
男	0	0	0	2	0	0	2	34歳
女	0	0	0	0	0	1	1	43歳
計	0	0	0	2	0	1	3	37歳

③ 在苑期間の状況（令和6年3月31日現在 ※旧法時代を含む）（単位：人）

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計	1人当たり 平均在苑期間
男	0	0	0	0	2	0	2	16年 0ヵ月
女	0	0	0	0	0	1	1	24年 3ヵ月
計	0	0	0	0	2	1	3	18年 9ヵ月

(3) 生活介護事業の取組みの状況

① 活動内容

- ・生産活動：手工芸製品作り（布製品、ビーズ製品など）
アルミ缶回収によるリサイクル活動
- ・創作活動：絵画、諸工芸、畑作業（季節の野菜づくり）など

- ・生活訓練的活動：掃除、洗濯、着替え、配膳下膳など
- ・身体機能の維持活動：ウォーキング、軽運動など

② 健康管理

- ・看護師による月1回のバイタルチェック（体重・血圧・BMI）と健康相談内容の管理
- ・歯科衛生士の指導のもと、毎昼食後の歯磨き介助を実施

③ 社会的・文化的経験

- ・「わかたけえん小さな作品展」、「ワークス作品展」、「京都とっておきの芸術祭」に出展
- ・他事業と合同でレクリエーション(音楽レクや夏祭り等の行事)を行い、交流を図った
- ・日帰りレクリエーションの実施（あおはにファーム・喫茶ピノキオ・エポカ・イオンモール京都桂川）

④ その他

- ・工賃支給 年2回実施（総計213,000円/年 1人平均71,000円/年）
- ・個別支援計画の作成及び面談 年2回実施

5 地域活動支援センター事業

(1) 年間開所日数 249日（前年度 245日）

(2) 利用者の状況

① 年度末登録者数 32人（内訳 向日市6人 長岡京市21人 大山崎町5人）

② 利用実績（1日利用定員15人）

月	向日市		長岡京市		大山崎町		計	
	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)
4月	6	36	13	36	3	13	22	85
5月	6	32	12	34	4	14	22	80
6月	5	39	11	37	3	12	19	88
7月	6	35	14	40	4	13	24	88
8月	6	35	13	38	3	12	22	85
9月	5	41	14	31	4	11	23	83
10月	5	38	15	35	3	8	23	81
11月	5	37	12	37	4	11	21	85
12月	6	31	13	39	4	14	23	84
1月	5	35	13	33	4	14	22	82
2月	6	36	15	42	4	14	25	92
3月	6	34	15	48	5	15	26	97
計	67	429	160	450	45	151	272	1,030

前年度 利用者数(延べ人数) 242人、利用回数(延べ回数) 967回

③ 1日平均利用者数 4.1人 (前年度3.9人)

④ 登録者の年齢・性別 (令和6年3月31日現在) (単位:人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳以上	計	平均年齢
男	0	2	5	1	3	1	12	41歳
女	0	2	5	8	3	2	20	43歳
計	0	4	10	9	6	3	32	42歳

(3) 地域活動支援センター事業の取組みの状況

① 創作的・文化的活動

- ・手工芸、読書、ゲームなどの趣味活動、余暇支援
- ・足湯、PC体験、クッキング、カラオケなどのプログラムの提供
- ・夏祭り、ハイキング、音楽などのレクリエーション

② 利用者同士の交流や、居場所作り

③ 健康管理

④ 生活相談

6 日中一時支援事業

(1) 年間開所日数 249日 (前年度 245日)

(2) 利用者の状況

① 年度末登録者数 49人 (内訳 向日市22人 長岡京23人 大山崎町4人)

② 年度内実利用者数 45人

※「年度内実利用者」とはその年度に1回以上利用した人

③ 利用実績 (1日利用定員5人+緊急時枠1人)

月	向日市			長岡京市			大山崎町			計		
	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)									
4月	18	30	88	17	34	95	2	4	22	37	68	205
5月	19	28	80	16	32	82	2	4	22	37	64	184
6月	19	40	108	19	43	108	2	4	22	40	87	238
7月	18	37	99	16	36	96	2	4	22	36	77	217
8月	18	38	108	14	31	79	2	4	22	34	73	209
9月	16	36	98	16	38	94	3	5	24	35	79	216
10月	20	41	115	17	37	100	2	4	22	39	82	237
11月	19	40	108	15	36	89	2	4	22	36	80	219
12月	18	32	95	16	33	92	3	5	24	37	70	211
1月	19	38	109	13	32	81	1	3	16	33	73	206

2月	16	31	90	16	40	107	3	5	24	35	76	221
3月	18	32	96	15	34	90	3	5	24	36	71	210
計	218	423	1,194	190	426	1,113	27	51	266	435	900	2,573

前年度 利用者数（延べ人数） 414人
 利用回数（延べ回数） 814回
 利用時間数（延べ時間数） 2,310時間

④ 過去5年間の利用状況

	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	備考
1日利用定員(人)	5+<1>	5+<1>	5+<1>	5+<1>	5+<1>	<>内は緊急時枠
月平均利用者数(人)	33.6	33.9	33.2	34.5	36.3	年間利用人数を12で 除したもの
1日平均利用人数(人)	3.5	3.7	3.6	3.3	3.6	年間利用回数を開所 日で除したもの
1人当たり月平均利用 回数(回)	2.1	2.3	2.3	2.0	2.1	年間利用回数を年間利 用者数で除したもの
1人当たり1回平均利 用時間(時間)	2.6	2.7	2.7	2.8	2.9	年間利用時間を利用 回数で除したもの
1人当たり月平均利用 時間(時間)	5.6	6.1	6.0	5.6	5.9	年間利用時間を利用 人数で除したもの

⑤ 登録者の年齢・性別（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

	13歳 ～15歳	16歳 ～18歳	19歳 ～24歳	25歳 ～30歳	31歳 ～40歳	41歳以上	計	平均年齢
男	4	6	2	4	9	1	26	26歳
女	0	1	4	7	3	8	23	34歳
計	4	7	6	11	12	9	49	29歳

(3) 日中一時支援事業における支援の内容

- ① 一時的な見守り（家庭における介護者の介護軽減・就労の援助など）
- ② 食事や排せつ・送迎などの支援
- ③ ケアマネジメント会議等への出席
- ④ 利用相談・調整

7 相談支援事業

(1) 実施件数（計画作成 45件、モニタリング実施件数 137件）（単位：件）

月	向日市		長岡京市		大山崎町		その他		計	
	計画作成	モニタリング								
4月	3	1	3	6	3	3	0	0	9	10
5月	0	2	0	7	1	1	0	0	1	10

(単位：件)

月	向日市		長岡京市		大山崎町		その他		計	
	計画作成	モニタリング								
6月	1	4	3	4	0	3	0	1	4	12
7月	1	2	4	3	1	4	0	0	6	9
8月	1	1	1	8	1	1	0	0	3	10
9月	2	4	1	6	0	3	0	1	3	14
10月	0	1	4	4	1	5	0	0	5	10
11月	0	1	2	8	1	1	0	0	3	10
12月	2	5	1	6	1	3	0	1	4	15
1月	2	2	1	6	0	3	0	0	3	11
2月	2	1	0	8	0	1	0	0	2	10
3月	0	5	2	8	0	3	0	0	2	16
計	14	29	22	74	9	31	0	3	45	137

前年度 計画作成44件、モニタリング実施件数86件

(2) 契約者の内訳（令和6年3月31日現在）

① 契約者数52人（前年度末 契約者数48人）

(単位：人)

		向日市	長岡京市	大山崎町	その他市町	計
乙訓若竹苑	就労継続	3	12	4	0	19
	生活介護	0	1	0	0	1
	地域活動	2	1	1	0	4
その他		7	17	3	1	28
計		12	31	8	1	52

介護障害審査課

向日市、長岡京市、大山崎町で受付、受理された要介護認定申請及び障害支援区分認定申請について、各市町が行った認定調査及び一次判定、並びに主治医意見書に基づき、公平公正な二次判定を行うと共に、円滑で効率的な介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会の運営に努めた。

1 介護保険認定事業

(1) 介護認定審査会（合議体）の開催

228回の審査会（合議体）を開催し、6,047件の二次判定を行った。
（詳細については、資料1のとおり）

- ・審査会委員数 76名、任期2年（令和5年度・6年度）
- ・審査会委員 保健・医療・福祉に関する学識経験者等
- ・合議体数 19合議体（各合議体：4名）
- ・申請件数の増加への対応及び審査会委員等の負担軽減を図るため、国の通知に基づき介護認定における介護認定審査会の簡素化を実施した。（令和3年度から実施）

(2) 介護認定審査会運営委員会

開催日：令和5年10月31日

場 所：多世代交流ふれあいセンター「長岡京こらさ」

内 容：

- ・介護認定審査会審査判定結果について
- ・令和5年度介護認定審査会19合議体の特徴について
- ・京都府介護保険審査会に対する審査請求の結果について

対象者：介護認定審査会会長、会長職務代理者、19合議体長及び職務代理者

(3) 介護認定審査会委員等研修の実施状況

研 修 名	主 催	日数	人数
令和5年度京都府介護認定審査会新任委員研修 （オンライン）	京都府	15	20
令和5年度介護認定審査会委員研修	乙訓福祉施設事務組合	1	24
令和5年度京都府介護認定平準化研修 （オンライン）	京都府	22	23

(4) 介護認定審査会に関する職員研修の実施状況

研 修 名	主 催	日数	人数
令和5年度市町村介護保険新任担当者研修会 (オンライン)	京都府	1	3
令和5年度京都府認定調査員初任者研修	京都府	11	3
令和5年度京都府認定調査員現任研修	京都府	14	3

(5) 乙訓地域包括ケアシステム推進交流会（乙訓医師会主催）

開催日：令和5年6月22日、10月19日、令和6年2月29日
(対面及びオンライン開催)

出席者：各日1名

概 要：

- ・介護認定審査会の実施状況の報告
- ・乙訓地域包括ケアシンポジウムについて
- ・在宅医療・介護連携支援センター活動報告と事業計画
- ・乙訓地域の在宅医療と介護のガイドブックについて

2 障害支援区分認定事業

(1) 障害支援区分認定審査会（合議体）開催

24回の審査会（合議体）を開催し、325件の二次判定を行った。
(詳細については、資料2のとおり)

- ・審査会委員数 15名、任期2年（令和5年度・6年度）
- ・審査会委員 障害保健福祉の学識経験を有する者等
- ・合議体数 3合議体（各合議体：5名）

(2) 障害支援区分認定審査会運営委員会

開催日：令和5年12月5日

場 所：乙訓福祉施設事務組合

内 容：

- ・障害支援区分認定審査会審査判定結果について
- ・令和5年度障害支援区分認定審査会3合議体の特徴について
- ・令和6年度の審査会開催日程について

対象者：障害支援区分認定審査会会長、会長職務代理者、認定審査会委員

(3) 障害支援区分認定審査会委員研修の実施状況

研 修 名	主 催	日数	人数
令和5年度障害支援区分認定審査会委員研修	乙訓福祉施設事務組合	1	10

(4) 障害支援区分認定に関する職員研修の実施状況

研 修 名	主 催	日数	人数
令和5年度障害支援区分認定調査員研修 (オンライン)	京都府	1	3

障がい者相談支援課

乙訓障がい者基幹相談支援センターを設置し、総合相談業務並びに障がい者虐待防止センター、障がい者自立支援協議会事務局等の各事業を行う。

1 乙訓障がい者基幹相談支援センター

地域における障がい児・者相談支援について、総合的な見地から以下の活動を行った。

(1) 地域の相談支援事業者等に対する専門的な指導、助言

相談支援事業所や市町からの相談及び本人や家族からの相談件数は、下表のとおりである。

なお、対応の仕方は依頼による各種会議への出席、継続的な訪問・面接等による直接対応等がある。

延べ相談件数（令和5年度）

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市町	0	2	0	0	4	2	2	6	12	0	0	1	29
事業所	6	4	1	1	3	4	7	9	6	4	4	11	60
本人・家族	25	53	55	25	19	24	40	37	38	12	24	32	384
その他 (関係者会議、学校等)	3	4	3	0	2	2	0	11	2	0	3	2	32
合計	34	63	59	26	28	32	49	63	58	16	31	46	505

(2) 地域の相談支援事業者の人材育成支援

相談支援事業所の職員等を対象として資質向上を目的に研修を実施した。

第1回

開催日 令和5年7月12日

場所 乙訓福祉施設事務組合大会議室での会場研修とオンライン研修の併用

講師 司法書士 奥本孝子 氏

内容 「成年後見制度の基本を学ぶ」

参加人数 会場 11名、オンライン 16名

第2回

開催日 令和5年11月28日

場所 乙訓総合庁舎 第2会議室

講師 ・講義 介護保険サービスについて

向日市北地域包括支援センター 木村絹代 氏

介護保険に移行するまでの流れについて

長岡京市障がい福祉課 山中あゆみ 氏

- ・事例紹介 向日市社会福祉協議会障がい者地域生活支援センター
落合鋼 氏
相談支援事業所・地域活動支援センターアンサンブル
藤本佑次郎 氏

内 容 「障がいから介護保険へ」

参加人数 17名

(3) 新任職員連続講座

第1回

開催日 令和5年9月15日

場 所 乙訓福祉施設事務組合大会議室

講 師 乙訓やよい会 松島朱美氏 西村くみ子氏

乙訓障がい者基幹相談支援センター 山田洋平

内 容 「当事者家族の思いを知る」

「乙訓圏域障がい者自立支援協議会の活動について」

参加人数 17名

第2回

開催日 令和5年9月22日

場 所 乙訓福祉施設事務組合大会議室

講 師 あらぐさ福祉会 角攝子氏

内 容 「乙訓の障がい福祉の歴史を知る」

参加人数 16名

第3回

開催日 令和5年9月29日

場 所 乙訓福祉施設事務組合大会議室

講 師 向日市障がい者支援課 山田直人氏

大山崎町福祉課 川田浩二氏

長岡京市障がい福祉課 山中あゆみ氏

内 容 「障害福祉サービスとその利用について」

「市町の独自の取組について」

参加人数 19名

(4) 職員派遣研修の実施状況

研 修 名	主 催	日数	人数
第二期成年後見制度利用促進基本計画における市町村・都道府県の役割・取組～全国の取り組み状況、自治体の事前報告～（オンライン）	厚生労働省	1	1
令和5年度医療的ケアを必要とする障がい児（者）の支援に関する研修会（オンライン）	京都府家庭支援総合センター	1	1

研 修 名	主 催	日数	人数
令和5年度市民のための成年後見制度活用講座	長岡京市中央生涯学習センター 長岡京市東地域包括支援センター	1	1
令和5年度第1回京都府小児リハビリテーション研修会 「支援学校卒業後の生活～生活介護事業所における活動とリハビリテーション～」 (オンライン)	京都府リハビリテーション支援センター	1	1
令和5年度福祉サービス苦情解決事業セミナー (eラーニング)	京都府福祉サービス運営適正化委員会	1	1
ひきこもり支援の基本と8050問題	乙訓もも	1	1
ひきこもり状態にある若者がつながりたいのは、誰？	乙訓もも	1	1
令和5年度医療的ケアを必要とする障がい児(者)の支援に関する研修会	京都府家庭支援総合センター	1	1
第1回乙訓絆サークル	乙訓もも	1	1
第2回乙訓絆サークル	乙訓もも	1	1

(5) その他

① 障がい者の権利擁護の推進

長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に係る協議会に参画し、研修実施に協力した。

② 地域の相談機関との連携

・自立支援協議会のプロジェクトに参加した。

相談支援プロジェクト	2ヶ月に1回 (プロジェクト委員長)
------------	--------------------

・向日市地域包括支援センター主催研修でケアマネジャーに障がい福祉サービス等について説明を行った。

2 乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局

京都府から「障害者相談支援ネットワーク整備推進事業」を受託し、乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営を行った。

(1) 各種機関とのネットワークづくりの推進および連携

乙訓圏域障がい者自立支援協議会の事務局として、全体会及び部会等の円滑な運営と課題の解決を図るため、必要な調整を行っている。

また、二市一町の障害福祉計画策定委員会、乙訓特別支援連携協議会、各種研修会、乙訓圏域障がい者就労ネットワーク「たけのこ」、乙訓圏域障がい者相談支援事業所連絡会、乙訓絆サークルに出席しネットワークの構築および連携の強化を図った。

① 全体会 1回開催

乙訓圏域の障がい者に関わる32機関・団体に構成

② 運営委員会 11回開催

・行政機関と相談支援の委託を受けた10事業所で定例会を開催し、協議すべき課題や支援策の検討、部会の進め方について協議を行った。

・向日が丘支援学校の進路先として、生活介護事業所（特に医療的ケアを含む肢体障がいのある生徒）の定員に空きがない状況について、毎月、向日が丘支援学校の進路状況を確認し運営委員会で共有するとともに、新設の生活介護事業所や既存の生活介護事業所の事業実施範囲の変更などの情報を共有した。

③ 入浴ワーキングチーム（行政、キャンパス、こらぼねっと京都、事務局）

なごみの郷の対象者が大山崎町から長岡京市まで拡大した。また、長岡京市や向日市にあるせんしゅんかいデイサービスセンター6事業所が、長岡京市の基準外生活介護の事業所登録を行った。

④ 部会等

「医療的ケア」委員会 5回開催

5つのワーキングチームを設け、各ワーキングチームで取組を進めた。

・人材育成ワーキングチーム

保育所等の関係機関に「喀痰吸引等研修」や「医療的ケア児支援法」の周知を図るため、大山崎町の保育所や乙訓圏域の幼稚園園長会で説明を行った。

・医療型短期入所の利用に向けた準備ワーキングチーム

相談支援専門員を対象に、医療型短期入所「春風」の見学と説明会を実施した。

・医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップワーキングチーム

第1回フォローアップ交流会は成人期の事例を通じた事例検討を行った。第2回フォローアップ交流会は「病院での出生から安心できる家での生活環境の整備までの流れ」について家族、支援者によるパネルディスカッションを行った。

・施設口腔ケアワーキングチーム

乙訓の障がい福祉サービス事業所に「歯科検診ならびに口腔ケアについて」のアンケートを実施した。その後、「かかりつけ歯科をつくることの大切さ」を施設職員に伝えるための研修会を2回実施した。

・医療的ケア児・者の実際を知ってもらうための活動ワーキングチーム

二市一町の社協まつりに参加し、来場者と当事者が交流できるコーナーを設けたり、医療的ケアに関するクイズや動画を作成したり、より多くの方に知っていただ

くための周知活動を行った。

- ・医療的ケア児・者の生活を支えるために必要なこと

府立特別支援学校に通学支援「医療的ケア安心サポート事業」の変更点や「重度障がい者等就労支援特別事業」の二市一町の事業実施状況について情報を共有した。

人材確保・育成部会 4回開催

- ・乙訓の障害者事業所での見学・職場体験を案内する「チラシ」の更新を行い、乙訓にある高校、大学、専門学校に配布した。
- ・京都保育福祉専門学院での就職フェアや乙訓地域就職フェアでチラシを配布した。
- ・西山短期大学で乙訓の7法人による就職ガイダンスを実施した。
- ・人材育成に携わる圏域法人職員の交流会を実施した。

就労支援部会 5回開催

- ・市役所等での庁内実習に4名が参加された。
- ・就労系の事業所や相談支援事業所を対象に京都障害者職業センターや京都ジョブパークなどの就労支援機関に参加いただき「福祉就労から一般就労に向けた学習会」を実施した。

相談支援プロジェクト 5回開催

3つのワーキングチームを設け、各ワーキングチームで取組を進めた。

- ・児童支援のすき間から生じる課題ワーキングチーム
児童の1日の生活や長期休みにおける生活のなかでの課題について、相談支援事業所から「どのような課題があり、どのように対応したか」というアンケート調査を実施した。
 - ・計画相談及び障害児相談支援の待機問題ワーキングチーム
相談支援事業所との契約希望者が増え続け、圏域内の相談支援事業所では対応しきれない状況であることに対し、「相談支援専門員不足に伴う課題についての報告書」を作成し二市一町に提出した。
 - ・グループホームの土日開所に向けた研究ワーキングチーム
重症心身障がいや強度行動障がいのある方が利用しているグループホームにおいて土日開所が困難となる事業所が多いなか、家族への負担や障害福祉サービスの調整が難しい状況である一方、圏域外で土日開所できているグループホームとの比較研究に向けたヒアリングシートを作成した。

喀痰吸引等研修プロジェクト 4回開催

介護職員認定研修事業として、「医療的ケア」に関する講義や実技を乙訓福祉会と共催で実施した。介護職等による喀痰吸引等研修（3号研修）を実施し、8名の参加があった。

精神障がい者地域生活支援プロジェクト 5回開催

居場所の開設に向けて、活動場所、協力者、運営について協議した。活動場所は聖衆山来迎寺（向日市）と介護老人保健施設春風（長岡京市）で、こころの健康推進員やボランティアに協力を得た。

児童発達支援プロジェクト 4回開催

圏域の児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所の基本情報の更新を行った。また、乙訓圏域児童発達支援事業所と児童発達支援プロジェクトとの懇談会を実施し、療育を勧奨する側と提供する側で圏域のニーズの共有を行った。

(2) 情報公開

乙訓圏域障がい者自立支援協議会のホームページを随時更新し、部会等の協議内容や研修会の広報等、情報発信を行った。

(3) 受講した主な研修等

研 修 名	主 催	日数	人数
障害者雇用助成金説明会	高齢者・障害・求職者雇用支援機構	1	1
障害のある人の就労支援シンポジウム	京都新聞福祉事業団	1	1
アメニティフォーラム27	アメニティフォーラム実行委員会	2	1
第1回乙訓絆サークル	乙訓もも	1	1
第2回乙訓絆サークル	乙訓もも	1	1

3 乙訓障がい者虐待防止センター

障害者虐待防止法に基づき運営し、業務を行った。

(1) 養護者、障がい者福祉施設従事者等、使用者による障がい者虐待に関する通報又は届出の受理

・通報ごとに二市一町と対応方針の協議と事実確認を行い、必要に応じてケース会議や家庭訪問、面接等を行った。

・通報受理件数

(単位:件)

	養護者による		施設従事者による		使用者による		合計	
	通報	虐待であると判断した件数	通報	虐待であると判断した件数	通報	虐待であると判断した件数	通報	虐待であると判断した件数
令和元年度	15	4	6	0	4	0	25	4
令和2年度	12	5	19	4	0	0	31	9
令和3年度	20	10	5	2	1	0	26	12
令和4年度	14	6	13	4	2	0	29	10
令和5年度	20	3	20	7	2	0	42	10

・二市一町とケースの情報共有を目的とした虐待事案進行管理会議を開催（毎月1回）

(2) 養護者による障がい者虐待の防止及び養護者による虐待を受けた障がい者の保護のための相談、指導及び助言

障がい者本人や養護者、障がい者の支援にあたる人からの来所相談、電話相談に対応した。

<本人からの相談内容>

家族との関係や日常生活の不安、支援内容の不満など

<養護者からの相談内容>

虐待対応に関することについて、家族間の関係について、将来の生活への不安、介護負担とその軽減について、利用しているサービスにおける不安や不満など

<障がい者支援にあたる人からの相談内容>

対応しているケースの虐待予防について

・障害者虐待防止法上の虐待ではない障がい者に対する虐待の相談に対応し、適切な窓口へ引き継ぎを行った。

(3) 個別ケース会議における専門職の参加

対応の難しい案件における京都府障害者・高齢者権利擁護センター専門職派遣チームが参加した個別ケース会議 1件

(4) 障がい者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報、啓発

① 障がい者虐待防止など権利擁護に関する研修会

福祉事業所や関係団体等からの依頼で、センター職員が各所に出向き、障がい者虐待防止や権利擁護に関する研修を講師として行った。

<福祉事業所からの依頼による研修>

開催日	事業所名	参加人数など
令和5年 6月30日	cocoSKIP	職員研修 9名
10月 6日	ぽっとまむ	職員研修 24名
令和6年 1月11日 1月18日	向日市社会福祉協議会ホームヘルプセンター	職員研修 56名

② 乙訓障がい者虐待防止センター主催研修

開催日 令和5年12月11日、12月18日

場所 乙訓福祉施設事務組合大会議室での会場研修とオンライン研修の併用

講師 北川法律事務所 弁護士 北川英幸氏

内容 「障害者虐待防止法と利用者や家族からの要求に対する事業所の対応を法律的視点から考える」

参加人数 会場 18名、オンライン 133名

③ 障がい者虐待防止連携協力体制の整備

「令和5年度乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議・研修会」の開催

開催日 令和5年7月20日

内容 障がい福祉に直接関係する機関・団体の他、医療・司法・教育・就労など幅広い機関から参加いただいた。会議では令和4年度の乙訓地域での障がい者虐待対応について報告し、令和5年度乙訓障がい者虐待防止センター事業計画を説明した。障害者虐待防止法施行から10年経過したこともあり、平成24年度～令和3年度の乙訓での障がい者虐待対応について報告した。

出席委員 35名

- ④ 乙訓圏域の障害福祉サービス事業所が職場単位で取り組む「虐待防止研修」で活用いただくことを目的に「障がい者虐待防止研修」の資料を作成し、組合ホームページに公開した。

(5) 職員研修の実施状況

研修名	主催	日数	人数
令和5年度市町村職員等向け権利擁護にかかる研修会～基礎研修～	京都府	1	1
令和5年度ハラスメント防止研修	京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター	1	1
令和5年度 福祉サービス苦情解決事業セミナー	京都府福祉サービス運営適正化委員会	1	1
発達障害の理解と職場での対応研修	京都産業保健総合支援センター	1	1
ゲートキーパー養成講座	長岡京市	1	1
障害者高齢者虐待の困難事案への対応に係る事例検討会	京都府	1	1
障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	(一社)全国手をつなぐ育成会連合会	3	1
弁護士を活用した施設虐待の検証(オンライン)	日本弁護士連合会	1	1
障害の基本的な理解(オンライン)	介護労働安定センター京都支部	1	1

乙訓ポニーの学校

1 施設運営及び事業の総括

- 療育、相談支援の質の向上を目指して、外部の専門研修に積極的に派遣するとともに、内部でも勉強会を行い、職員間で知識等を共有した。また、医師や各種療法士を招いて困難ケース等の症例を挙げて検討した。療育や相談支援に生かすよう、圏域外の児童発達支援、相談支援事業所に視察見学を実施した。
- 相談支援事業では、契約者は年度末で524名となり、年間のサービス利用計画及び継続障害児支援利用報告作成件数は、延べ1,674件（前年度比113%）となった。
- ポニーの学校利用児に年1回発達検査を実施し、発達状況を把握した上で、保護者への相談対応を行った。

2 児童発達支援事業

(1) 行事等

- 令和5年4月 4日 療育開始
- 6月12日 京都府立向日が丘支援学校説明会
（6月～9月に保護者の希望により、該当校の通常学級、特別支援学級等の参観を適宜実施）
- 6月21日 第1回両親教室
「就学先の選択と学校生活について」
（話題提供者として卒園児保護者4人、参加者48人）
- 7月 9日 上半期家族懇談会（32人出席）
- 12月 3日 お楽しみ会（参加者 65組）2部制で実施
第1部（34組）第2部（31組）
- 12月15日 第2回両親教室
「運動って大事！運動がもたらす子どもの発達への良い影響について」（参加者13人）
- 令和6年1月21日 下半期家族懇談会（36人出席）
- 3月30日 就学児を送る会（参加者34組）2部制で実施
第1部（17組）第2部（17組）

(2) 職員研修の実施状況

① 派遣研修

研 修 名	主 催	日数	人数
京都府サービス管理責任者等更新研修（eラーニング+集合）	京都府	2	1
京都府サービス管理責任者等基礎研修（eラーニング+集合）	京都府	3	1
京都府サービス管理責任者等実践研修（eラーニング+集合）	京都府	3	1
京都府相談支援従事者現任研修（eラーニング+集合）	京都府	4	2

京都府強度行動障害支援者養成研修（eラーニング+集合）	京都府	2	1
医療的ケア児等コーディネーター養成研修（eラーニング+集合）	京都府	3	1
精神障害者支援者研修	京都府	2	1
脳性まひ児療育関係職種対象講習会（オンライン）	大阪発達総合療育センター	4	1
感覚統合入門・基礎セミナー	（社福）京都国際社会福祉センター	1	1
京都府障害者虐待防止・権利擁護研修（市区町村、虐待防止センター職員等コース）	京都府	1	1
令和5年度乙訓障がい者虐待防止センター主催研修会「障害者虐待防止法と利用者や家族等からの要求に対する事業所の対応を法律的視点から考える」	乙訓障がい者虐待防止センター	1	6
京都府障害福祉従事者専門研修（児童分野の相談支援及びサービス提供）（eラーニング+集合）	京都府	2	1
K式発達検査を用いた発達援助セミナー（stage 1）	（社福）京都国際社会福祉協力会	1	1
大阪医科薬科大学LDセンター研修会	大阪医科薬科大学LDセンター	1	3
タスクフォース養成研修会	同志社大学心理学部石川研究室	2	1
アメニティフォーラム27	アメニティフォーラム実行委員会	2	1
令和5年度第1回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会「成年後見制度の基本を学ぶ」（オンライン）	乙訓障がい者基幹相談支援センター	1	3
乙訓圏域新任職員連続講座	乙訓障がい者基幹相談支援センター	3	4
京都府聴覚支援センター公開講座	京都府立豊学校	1	2
福祉サービス苦情解決事業セミナー（オンライン）	京都府福祉サービス運営適正化委員会	1	1
向日が丘支援学校 夏のセミナー（オンライン）	京都府立向日が丘支援学校	1	8
近畿地区知的障害関係施設職員研修会	近畿地区知的障害者施設協会	1	5
福祉就労から一般就労に向けた学習会	乙訓圏域障がい者自立支援協議会	1	4

研 修 名	主 催	日数	人数
小児ST向け講習会「発達に遅れのある子どもの話すことに必要な力をつけるための準備」	NPO法人摂食嚥下問題を考える会	1	1
こども発達支援センター地域療育支援学習会「発達障害に関わる支援者に必要な視点」(オンライン)	京都府立子ども発達支援センター	1	1
歯科医療受診困難者における問題点と対策～かかりつけ歯科受診の検討～	乙訓圏域障がい者自立支援協議会	1	10

② 内部研修

事例検討会 助言者：川畑 隆 氏（臨床心理士） （7回実施）

内部研修会 助言者：廣田陽代 氏（小児科医師） （2回実施）

専門職との連携

助言者：青木 のり子 氏（理学療法士）	事例検討・研修等	1回実施
助言者：齋藤 典昭 氏（言語聴覚士）	事例検討・研修等	2回実施
助言者：笹井 久嗣 氏（作業療法士）	事例検討・研修等	2回実施
助言者：岩崎 香代 氏（歯科衛生士）	実地指導・助言等	12回実施

(3) 視察研修

児童発達支援事業所 さつき園（京丹後市） 2名

(4) 利用状況

① 月別利用児童数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
向日市	40	40	40	42	42	42	46	46	46	47	47	47	43.8
長岡京市	37	37	37	38	38	38	37	37	37	38	37	37	37.3
大山崎町	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13.7
合計	90	90	90	94	94	94	97	97	97	99	98	97	94.8
令和4年度実績	70	70	69	73	73	73	84	84	84	93	93	93	79.9

② 男女別・年齢別幼児数

【上半期：9月末現在】

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	割合
男	0	1	11	15	14	29	70	74.5%
女	0	0	5	8	4	7	24	25.5%
計	0	1	16	23	18	36	94	100%

【下半期：3月末現在】 (単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	割合
男	0	1	14	18	14	28	75	77.3%
女	0	0	5	7	4	6	22	22.7%
計	0	1	19	25	18	34	97	100%

利用開始年齢 ー前年度比較ー 【4月1日現在】 (単位：人)

年齢	0歳児～	1歳児～	2歳児～	3歳児～	4歳児～	5歳児～	計
令和4年度	0	0	5	5	2	2	14
割合	0%	0%	36%	36%	14%	14%	100%
令和5年度	0	1	5	4	2	6	18
割合	0%	6%	28%	22%	11%	33%	100%

(5)療育実施状況

① 主な障がい種別 【3月末現在】 (単位：人)

種別	肢体不自由	知的障がい	視覚障がい	聴覚障がい	発達障がい	その他	計
人数	0	27	0	1	35	34	97

② 事業の実施状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用児数	280	295	267	278	256	249	290	313	218	260	291	239
	延べ利用児数 3,236 人①											
療育日数	15	15	15	14	14	11	17	17	13	14	16	13
	療育日数 174 日②											
1日の平均利用児数 (①÷②) = 18.6人												

※療育日数：療育を実施した日数。遠足や保護者向け講演会等の行事や保育所・幼稚園訪問、嘱託医相談日等は日数に含まれない。

定期療育出席率 (利用率) (単位：%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	87.9	84.9	84.7	69.7	70.7	80.6	79.4	85.3	81.2	76.6	81.6	88.1	81.0
令和5年度	83.3	88.3	85.0	82.2	80.0	85.3	79.5	82.6	81.6	84.1	81.7	86.6	83.4

③ 訪問指導 (単位：回)

上半期	下半期	計
76	22	98

- (6) 発達相談
実施件数 86件
- (7) 各種相談
① 嘱託医相談 (10回実施) 30人
② 歯科衛生士相談 (12回実施) 延べ74人
- (8) 療育関連事業
① 母と子の文庫 (絵本、紙芝居等の貸出し事業)
② おもちゃライブラリー (月1回 午後3時～4時半)
親子 延べ37組 (子ども 延べ51人) 参加
③ 施設開放事業 (令和5年8月19日、10月1日、12月26日、令和6年3月29日)
卒園児34組 子ども51人 (きょうだいを含む) 参加
- (9) 安全衛生
感染症対策として、以下の対策をとった。
○手指消毒用アルコール、物品用アルコールを常備し、必要に応じて使用する。
○部屋の換気を行う。
食中毒予防並びに館内の衛生のため、以下の対策をとった。
○昼食までの間、通園児の持参した弁当を冷蔵庫で保管 (5月中旬～9月)
○食前の手洗いの励行
○衛生管理業者による水回り、プレイルーム及び面接室の害虫駆除
- (10) 防災関係
消防設備点検 (5月30日、11月7日)
避難訓練 (7月3日、11月15日)
- (11) 虐待防止
職員研修 2回実施
- (12) ポニーだより 4回発行
- (13) 見学の受け入れ
訪問看護ステーションどんどこ Smile 1名
今里こども園 1名
- (14) 実習・研修の受け入れ
心理実践実習 (公認心理師) 3名
心理実習 (公認心理師) 20名
介護等体験実習 5名

(15) 関係機関との連携

① ポニーの学校関係機関連絡会議

ケアマネジメント会議（向日市・長岡京市）

② 保・幼、母子保健及び児童福祉との連携

保育所、幼稚園訪問を実施すると共に、保健師と連絡を取り合い、児童と保護者、家族に対する理解を深め、適切な対応をとるよう努めた。

・長岡京市発達支援保育指導会議委員

③ 教育機関との連携

・向日市教育支援委員会 就学前児部会委員

・長岡京市教育支援委員会 新入児審議部会委員

・大山崎町教育支援委員会 就学前児部会委員

④ その他障がい者福祉との連携

・京都府療育教室指導者連絡協議会

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会運営委員

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会委員

（相談支援部会・医療的ケア委員会・児童発達支援プロジェクト）

・長岡京市障がい者ネットワーク連絡調整チーム会議委員

・長岡京市地域健康福祉推進委員会障がい福祉部会委員

・乙訓圏域障がい者相談支援事業所連絡会

・乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会

(16) 苦情解決制度の利用 なし

(17) 寄 贈

トランポリン、トランポリンカバー 2 セット、巧技台の蓋 2 個、ワイドすべり、子ども用机 （三共テクノ株式会社）

3 障害児相談支援事業

(1) 相談延べ件数（障害児支援利用計画作成モニタリング含む）

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
向日市	47	59	64	56	67	76	62	55	64	62	60	121	793
長岡京市	45	45	45	67	74	55	57	49	40	71	68	92	708
大山崎町	8	4	15	16	18	21	19	3	11	12	17	29	173
令和5年度 合計	100	108	124	139	159	152	138	107	115	145	145	242	1,674
令和4年度	112	95	106	109	143	131	126	104	118	125	116	197	1,482

一般相談	年度	件数
	令和3年度	5
	令和4年度	22
	令和5年度	33

(2) 契約者数

(単位：人)

	向日市	長岡京市	大山崎町	合計
令和3年度	198	189	43	430
令和4年度	227	212	49	488
令和5年度	244	229	51	524